



チバソム、ホアヒン 国際マングローブデー2025 を記念

世界規模のマングローブ保全活動を展開

タイとカタールにて 700 本を植樹、自然と共生するサステナブルな未来へ



チバソムとズラル・ウェルネスリゾートが、ザヒール・カーン氏、サガリカ・ガートゲ氏、マリアム・ファリド氏らと共に、タイとカタールで 700 本のマングローブを植樹

2025 年 8 月

ウェルネスリゾートの世界的リーダーであるチバソム、ホアヒンと、姉妹施設のズラル・ウェルネスリゾート by チバソムは、7月26日の「国際マングローブ生態系保全デー」を記念し、タイとカタールにて同時にマングローブ植樹イベントを開催いたしました。両リゾートは合計 700 本のマングローブを植樹し、沿岸部のレジリエンスを高めるとともに、豊かな生物多様性を未来へと継承する重要性を広く発信しました。

チバソム、ホアヒンでは、リゾートからほど近い「クライラート・ニワテ マングローブ保全プロジェクト」において 500 本を植樹。インドの元クリケット代表で 2011 年ワールドカップ優勝メンバーのザヒール・カーン氏、女優でモデルのサガリカ・ガートゲ氏も参加し、活動に華を添えました。2013 年以来、累計 12,500 本以上を植樹してきたこの取り組みは、荒地をエコサンクチュアリへと変貌させ、今では 1,000 メートルの高架遊歩道から訪れる人々を迎えています。



左から：サガリカ・ガートゲ氏、ザヒール・カーン氏

中東最大の本格的なウェルネスリゾートであるズラル・ウェルネスリゾートでは、ゲストとスタッフがマングロブデッキに集い 200 本を植樹。「フレンズ・オブ・チバソム」として、カタールを代表するアスリートであり環境保護活動にも尽力するマリアム・ファリド氏が参加しました。波静かなカタール北部の海岸線に広がるマングロブは、海洋生物や渡り鳥の安息の地であり、文化と自然の調和を象徴する存在です。



ズラル・ウェルネスリゾートでのマングロブ植樹に参加したマリアム・ファリド氏

これらの活動は、ウェルネス、サステナビリティ、そして地域社会を結ぶ「フレンズ・オブ・チバソム」イニシアティブの一環です。チバソムは、「個人のウェルビーイングと地球の健やかさを一体と考える」という哲学のもと、世界のラグジュアリートラベラーに向けて、自然と共生するホリスティックなライフスタイルを提唱し続けています。



チバソム・ホアヒンで行われたマングローブ植樹活動

ABOUT CHIVA-SOM, HUA HIN

1995年の創業以来、ウェルネスのパイオニアとして世界に名を馳せるチバソムは、革新的な取り組みで世界的に高く評価されています。チバソムが誇るマインド、ボディ、スピリットの調和をもたらすイノベティブでホリスティックなアプローチは、タイ王国ホアヒンに位置するフラッグシップリゾートのほか、チバソムファミリーの最新プロパティ、カタールのアルルワイスにオープンした「ズラル・ウェルネスリゾート by チバソム」でもお楽しみいただけます。

ゲスト一人ひとりに合わせた最適なウェルネス体験は、チバソムの神髄です。チバソムは、地域固有の伝統とエビデンスに基づくウェルネス療法のユニークなシナジーを活用し、ライフスタイルの変革のためにパーソナライズされたウェルネスの旅をゲストと共に進みます。

チバソムならではの心からのおもてなしでゲストのモチベーションを上げ、高い専門性とホスピタリティを備えたスタッフがサポートします。新しいズラル・ウェルネスリゾートでは、ファミリー向けのプログラムも提供しています。

チバソムのウェルネスに対する真摯な取り組みは、同ブランドが行う全ての活動の核心であり、教育機会の提供や地球規模の持続可能性に関するイニシアティブへの参画など、より広範囲なコミュニティにまで拡大しています。